

令和 8 年度 入学 試験 問題

総合問題 (家庭)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 解答はすべて別紙解答用紙の解答欄に記入ください。
3. 解答用紙は2枚です。
4. 各解答用紙には受験番号を記入する欄がそれぞれ1箇所あります。すべて記入ください。
5. 試験終了後、問題用紙は持ち帰りください。

- I 資料 I—1 は、高齢者の痩せに関する新聞記事である。資料 I—2 は、目標とする BMI の範囲の分布である。
在宅高齢者の痩せ対策について、これらの資料を用いて、あなたの考えを 300 字以内で述べよ。

この個所は著作権の関係で表示できません。

出典) 東京新聞 2025 年 3 月 5 日付夕刊 出題のために一部改変

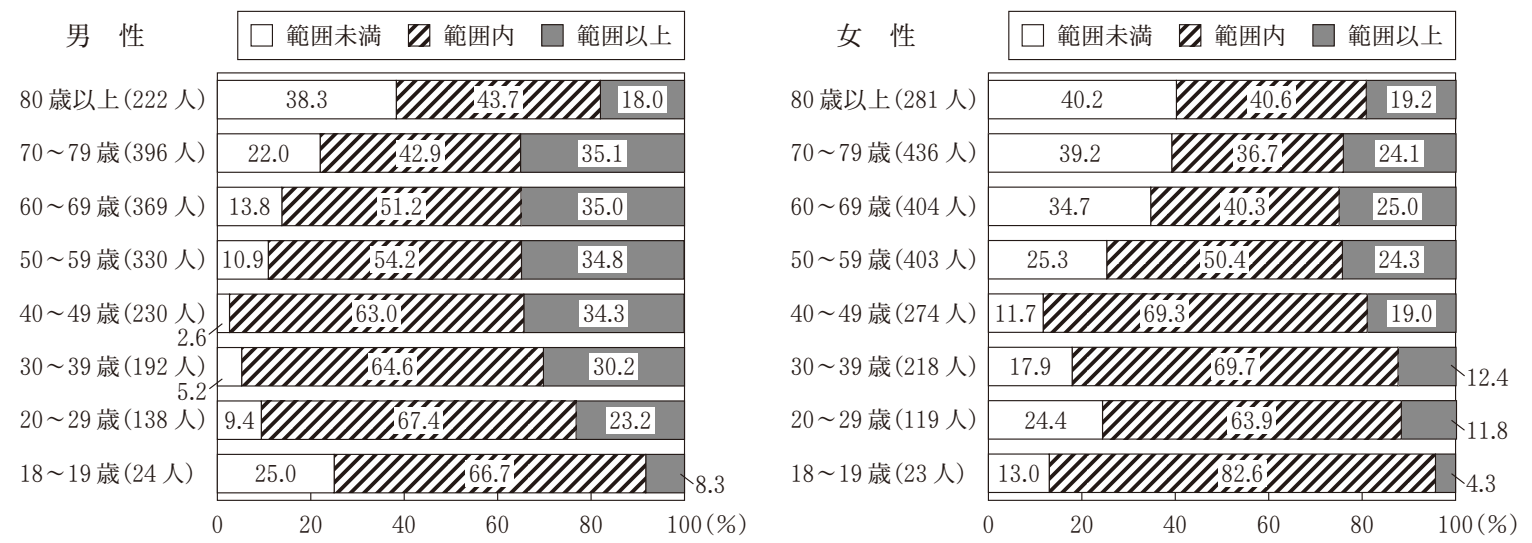
注) 高齢者：一般には 65 歳以上の者。65～74 歳の高齢者を前期高齢者、75 歳以上の高齢者を後期高齢者という。

注) サルコペニア：高齢者にみられる骨格筋量の低下と筋力もしくは身体機能（歩行速度など）の低下のこと。

注) 誤嚥性肺炎：食べ物や唾液などが、食道ではなく気管に入ってしまうことを誤嚥^{ごえん}という。気管に入り込んだ食べ物で窒息することや細菌などにより、発症する肺炎のこと。

注) 薬剤起因性老年症候群：ふらつき・転倒、記憶障害、食欲低下、便秘などの症状が薬剤によって引き起こされる疾病のこと。

資料 I-2 目標とする BMI の範囲の分布



注1) 身長と体重の測定を行った18歳以上の者を集計対象とした。なお、女性は妊婦13人を除外した。

注2) BMIは体重(kg) / (身長(m))²で算出した。

注3) 目標とするBMIの範囲は18~49歳が18.5~24.9(kg/m²), 50~64歳は20.0~24.9(kg/m²), 65~74歳は21.5~24.9(kg/m²), 75歳以上は21.5~24.9(kg/m²)である。

出典) 厚生労働省 令和5年国民健康・栄養調査報告より作成

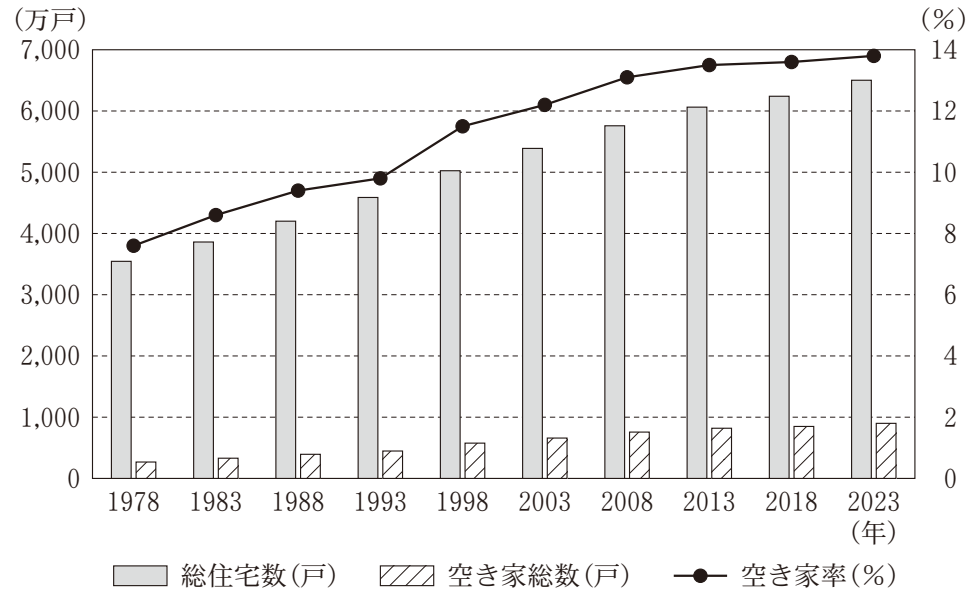
注) 四捨五入等により図中の数値の合計が100.0%とならない場合がある。

II 次の問いに答えよ。

問 1 資料Ⅱ－1，資料Ⅱ－2，資料Ⅱ－3を見て，日本における空き家*の現状について200字以内で述べよ。

問 2 空き家の発生によって生じる問題点をひとつ挙げた上で，その解決案を200字以内で述べよ。

資料Ⅱ－1 総住宅数，空き家総数および空き家率の推移（全国）

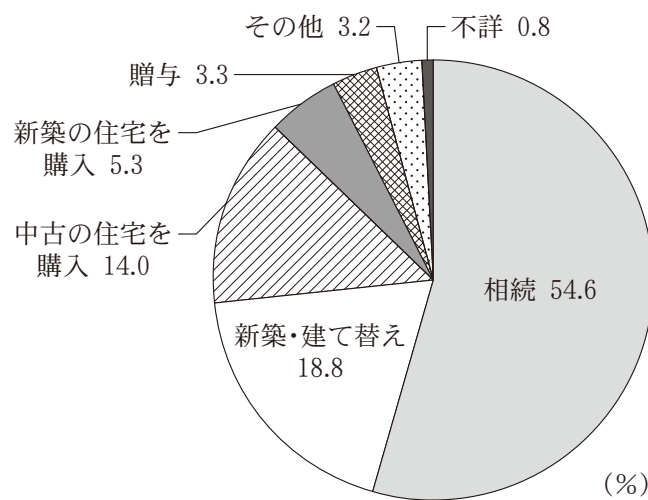


注) 空き家率は総住宅数に占める空き家の割合

出典) 総務省 令和5年住宅・土地統計調査 住宅数概数集計(速報集計) 結果より作成

* 空き家とは空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき，居住その他の使用がなされていないことが常態である建築物または工作物とその敷地をさす。(総務省より)

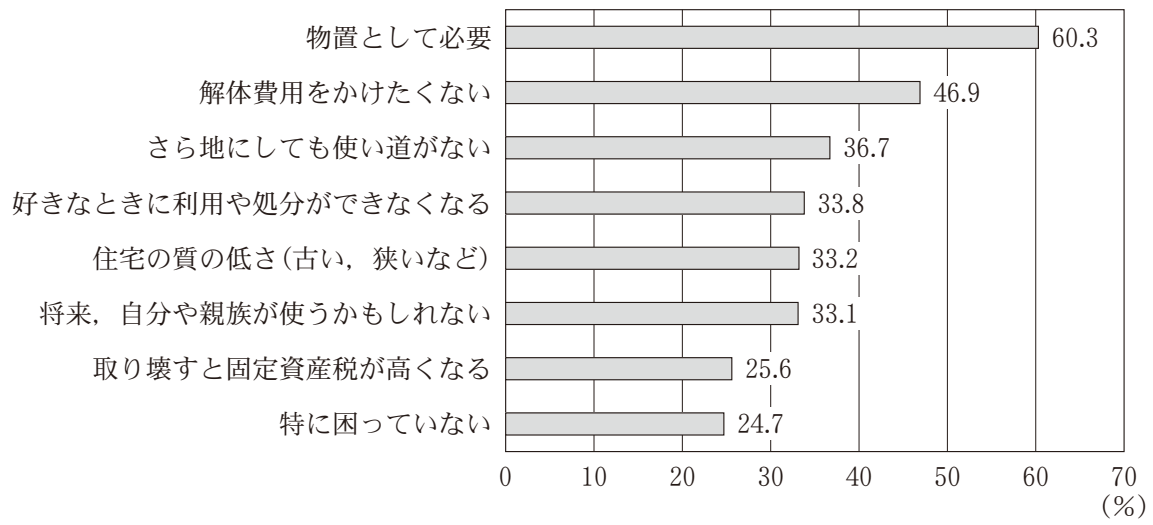
資料Ⅱ－2 空き家の取得*方法



出典) 国土交通省住宅局 令和元年空き家所有者実態調査報告書より作成

* 取得とは自分の所有とすること。手に入れること。(広辞苑第七版より)

資料Ⅱ－3 空き家にしておく理由（上位8項目）



出典) 国土交通省住宅局 令和元年空き家所有者実態調査報告書より作成